

サクランボ特報 NO.6

JA 中野市営農センター
JA 中野市サクランボ部会

毎日お仕事お疲れ様です。園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、気温の上昇とともにハダ二類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。

*雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として定期的にかん水を実施して下さい。

1. 薬剤散布

共通注意事項

- ① 隣接園（特に今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意してください。
- ② 散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないよう注意する。

8月上旬（第8回定期散布から14日後）

散布薬剤：水100ℓ当り		散布日 8月	日	散布量	ℓ
展着剤	10ml				
トレノックスフロアブル	200ml			(収穫21日まで、5回以内)	
サムコルフロアブル10	40ml			(収穫前日まで、3回以内)	

*対象病害虫：灰星病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病、ケムシ類、コスカシハ類、ハマキムシ類
(アメリカシロヒトリ)

*散布量：10a当り 600ℓ以上

*注意事項：ハダ二類発生園は、カネマイトフロアブル 1,000倍（7日前、1回）またはダニゲッターフロアブル 2,000倍（前日、1回）を加用する。※ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻にかかると不稔等の薬害を生じる恐れがあるため、飛散しないように注意する。

*カイガラムシ類対策（特別散布：8月下旬）

カイガラムシ類の発生園は、アプロードフロアブル 1,000倍（収穫7日前、2回）を散布する。

※今年度の栽培日誌を提出していない方は、至急提出をお願い致します。（各センターまたは共選所）